

富山県

定数：3名

立候補者数：4名



氏名 渡邊 逸平
氏名ふりがな わたなべ いっぺい
都道府県士会 富山県
年齢 41
勤務先名称 富山県立中央病院

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2012年～スポーツ支援事業に従事（高校バレーボール、高校野球、ハンドボール、富山マラソン）
2020年～富山県理学療法士会（県士会）理事（社会局担当）
2024年～県士会スポーツ支援事業局局長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

茨城県から富山県に転居して17年になりました。理学療法士としては19年間、急性期病院（うち2年間は小児施設）に勤務し、患者さんの健康寿命の延伸と生命予後の改善を目指し、日々の臨床に取り組んできました。また、臨床力を高めるために、3学会合同呼吸療法認定士、認定理学療法士（呼吸）、心臓リハビリテーション指導士、ACLSプロバイダーの資格を取得し、現在はJSPOT、BLSインストラクター、DMATコーディネーターを目指し、日々勉強中です。院外では日本DMAT隊員として、能登半島地震での病院支援、県士会での介護予防事業やスポーツ支援事業、小児部局での活動に携わってきました。

これまで経験してきた「がん」、「呼吸・循環」、「スポーツ」、「小児」、「介護予防」、「災害支援」等の活動を通して、様々な方々と出会い、老若男女一人一人の意見を協会中央に届けるべきだと感じ、今回立候補しました。代議員でないとして協会長選挙の投票もできないことを知らない会員の方もいると思います。そんな皆様の声を、たくさんの現場活動を通じて広い上げ、協会の未来が更に明るくなるように、中央にお届けしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



氏名 仲川 仁

氏名ふりがな なかがわ ひとし

都道府県士会 富山県

年齢 56

勤務先名称 富山西リハビリテーション病院

日本理学療法協会活動歴

日本理学療法士協会代議員（平成30年4月1日～令和2年3月31日／
令和2年4月1日～令和4年3月31日／令和6年6月30日～現在）

都道府県理学療法士（協）会活動歴

富山県理学療法士会理事（平成26年4月～平成30年6月）
富山県理学療法士会副会長（平成30年7月～令和6年6月）
富山県理学療法士会会長（令和6年7月～現職）

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私は、理学療法士として日々の臨床に向き合う中で、現場の努力だけでは解決が難しい課題が多く存在することを実感してきました。専門性の向上は重要ですが、それだけでは職能全体の発展には限界があります。会員が安心して働き、能力を発揮できる環境を整えるためには、現場の声を正確に把握し、協会の意思決定に反映させる仕組みが必要です。私はその橋渡し役として貢献したいという思いから、代議員に立候補いたしました。現場の課題を丁寧に拾い上げ、協会運営に反映させることで、より良い職能環境をつくることができると確信しています。

代議員としては、以下の三点を重点的に進めます。

第一に、現場の声を協会運営に確実に届ける仕組みづくりです。働き方、待遇、教育環境、管理者の負担、若手の悩みなど多様な課題を整理し、政策や事業に反映させ、会員が実感できる改善につなげます。

第二に、地域の理学療法士が活躍しやすい環境整備です。地域包括ケアの推進や医療・介護・福祉の連携、予防領域での活動拡大に向け、制度的支援や情報提供の強化に取り組みます。

第三に、若手・中堅の育成とキャリア支援です。研修機会の拡充、管理者支援、キャリア形成の見える化を進め、安心して成長できる環境を整えます。

理学療法士が専門性を発揮し、社会に貢献できる環境をつくるのが私の使命です。会員の皆さまとともに協会の未来をより良いものにしていきたいと考えております。ご支援をお願い申し上げます。



氏名 布上 隆之

氏名ふりがな たかのかみ たかゆき

都道府県士会 富山県

年齢 45

勤務先名称 富山医療福祉専門学校

日本理学療法協会活動歴

令和4年度 第57回日本理学療法学会 in とやま 運営局長

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成28年～令和5年度 (一社) 富山県理学療法士会 生涯学習担当者
平成30年～令和3年度 (一社) 富山県理学療法士会 教育局 担当理事
令和元年～令和3年度 (一社) 富山県理学療法士会 スポーツ支援事務局 担当理事
令和元年度 第35回東海北陸理学療法学会 運営部長
令和4年～令和5年度 (一社) 富山県理学療法士会 教育局長
令和6年～現在 (一社) 富山県理学療法士会 副会長 事務局長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私は、急性期病院から回復期、生活期、クリニックまで16年間複数の現場を経験し、現在は養成校教員として後進の育成に携わっています。職場を移りながら専門性を高めてきた経験から、終身雇用が前提ではなくなった現代において、多様な働き方やキャリア形成を支え、安心して挑戦できる仕組みを協会として整えることが重要だと考えております。第一に、努力や成長のかたちは一人ひとり異なりますが、臨床、教育、研究、地域活動など、現場で誠実に取り組んでいる理学療法士が、立場や勤務形態に左右されることなく、正に評価される仕組みが必要です。無理に競争をおおるのではなく、それぞれの強みや役割が認められる仕組みを目指してまいります。

第二に、少子化による志望学生の減少、学習意欲や学力の多様化、実習指導に伴う現場の負担など、養成校と臨床現場の双方が抱える課題に向き合い、教育と臨床が連携した人材育成体制が重要です。養成校教員としての立場と現場経験の両方を生かし、実効性ある提案を行ってまいります。

第三に、ワークライフバランスへの配慮や、年齢、性別、勤務形態によらない公平性が確保された職場環境づくりを、協会の重要課題として位置付け、現場の実情を踏まえた制度改善につなげてまいります。

代議員として、富山県士会員の皆さんの思いを背負い、とりわけ地方の現場で働く会員の声が届くことのないよう、現場の実情や会員の声を的確に協会へ届けてまいります。ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



氏名 城前 美奈
氏名ふりがな じょうぜん みな
都道府県士会 富山県
年齢 52
勤務先名称 かみいち総合病院

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成19年～29年度	(一社) 富山県理学療法士会	医療保険部長
平成30年～令和5年度	(一社) 富山県理学療法士会	理事
令和3年度 第25回富山県理学療法学会	大会長	
令和6年度～	(一社) 富山県理学療法士会	副会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

現在、協会の女性会員の割合は年々増加しております。私は、理学療法士としてだけではなく、一人の女性として現場で働く私たちが何を感じ、何を求めているのか。その声を組織の意思決定の場へと届ける橋渡し役を担いたいと考え、代議員に立候補いたしました。近年、理学療法士の職域は、医療や介護に留まらず、スポーツ、予防、そして産後ケアなどのウィメンズヘルス分野へと急速に拡大しています。社会的ニーズも高く、専門性が発揮される場が増える一方で、結婚や出産、育児、介護といったライフステージの変化に直面し、「今まで通りに働き続けられるだろうか」と不安を抱く会員も少なくありません。昨今、男女を問わず育休を取得できる環境が整いつつありますが、依然として現場では人員不足が深刻な悩みとなっており、制度と実態の乖離が大きな課題だと考えます。私は、代議員として、こうした現場の課題を拾い上げ、協会の施策に反映させるため、以下の三点を中心に取り組みたいと思います。

第一に、誰もが研鑽を積み、働き続けられる環境の整備です。ライフステージの変化があっても学びを諦めず、専門性を維持できる柔軟な教育システムや支援を推進します。

第二に、現場の負担軽減と、会員がメリットを実感できる制度改善です。現場の実態を吸い上げ、協会として実効性のある策を提言し、会員であることで働きやすさを実感できる制度改善を目指します。

第三に、現場の声がしっかりと届く風通しの良い仕組みづくりです。会員の悩みなど多様な課題を整理し、会員一人ひとりの想いが施策に反映される仕組みを目指します。会員の皆さまとともに、自分らしく歩み続けられるような未来を目指していきたいと考えています。ご支援をよろしくお願い申し上げます。